

12月補正予算

木曾町振興基金へ

5,100万円

温もり基金へ

2,338万円

障害者自立支援事業

1,098万円

木造住宅新築等補助金

2,75万円

郡内業者が町内の7社以上の下請納入業者で在来工法木造住宅を新築又は増改築をおこなう者に補助をおこなう。

福島小学校耐震診断

1,470万円

すんき特許出願権

50万円

申請手数料および名義変更代。

福祉灯油

300万円

昨年と同様で町民税非課税の一人ぐらしの世帯へ5千円の助成。

新型インフルエンザ対策

2,300万円

救助や防除対策時に使用するマスク等の消耗品代。

災害備蓄品購入費

950万円

災害時の毛布・簡易トイレ・倉庫・車両等。

人事案件

木曾町

教育委員会委員

山下 義之氏 (福島)

任命に同意しました。

固定資産評価審査

委員会委員

松原 万明氏 (福島)

越取 淳一氏 (日義)

木戸 稔氏 (三岳)

選任に同意しました。

農業委員会委員

西尾 禮子氏 (三岳)

古澤 久美氏 (福島)

越取思正子氏 (日義)

田中ムツヨ氏 (開田)

推薦しました。

(財)民間都市開発

推進機構 (民都機構)

から助成

5,000万円

木曾町は平成17年から毎年2億円(合併特例債から)の積立をおこない、現在残高6億円の木

議会トピックス

曾町地域振興基金を創ってきました。これを「住民参加型町づくりファンド」と呼びます。この基金に対し民都機構より町づくりのための資金助成がおこなわれることになりました。この助成でおこなえる事業は、主に空き家・空き店舗の改修による町づくり事業、観光案内サイン等整

備事業などで、個性と創造に満ちた町づくりの推進を図る事業に活用できます。平成21年度から3年の予定で各地域の町づくり活動に支出する予定にしています。

見込まれる効果としては、町の魅力向上、賑わいの創出、地域コミュニティの活性化、観光交流人口の増加、美しい景観形成などがあり、地域自治組織の自主自立的な地域づくりの活動支援にもなります。現在、検討をはじめているところですが、より有効な活用が望まれます。



統一された案内看板